

【参考資料6】 各種会議開催、先進事例視察等の経過等

[会議等]

【酒田市まちなかランドデザイン策定に係る三者会議】

<期日>令和7年5月21日

<検討内容>キックオフ会議。官民連携連絡会議の構成、策定に向けたスケジュール、市民意見聴取方法について協議・決定

【官民連携連絡会議】

<概要>市、「旧清水屋を核とした中心市街地再生協議会」、UR都市機構（オブザーバー）で組織。実務者レベルの「作業部会」と、各組織の代表者から成る「代表者会議」の2部構成

[作業部会]

- ・ 令和7年7月16日 / <検討内容>ランドデザイン（たたき台）の検討、市民意見聴取について、タウンミーティング①について
- ・ 令和7年9月25日 / <検討内容>ランドデザイン策定スケジュールの一部変更について、ランドデザイン（素案）の策定に向けた検討（「コンパクト・プラス・ネットワーク」、居住誘導、誘客の核となる施設、ウォークブルタウンなどの追加）、市民意見の聴取結果（「さかポス」の投稿内容、タウンミーティング①で出された意見）について など
- ・ 令和7年10月24日 / <検討内容>ランドデザイン（素案）の検討、令和8年度の検討体制について、先進地視察の報告、官民連携連絡会議代表者会議の開催について、今後のスケジュールについて、タウンミーティング②について など
- ・ 令和8年1月27日 / <検討内容>ランドデザイン（案）の検討
- ・ 令和8年3月19日 / <検討内容>ランドデザインの最終案の検討（予定）
 - ◆8月、12月、2月は開催せず。11月は代表者会議に諮る内容（ランドデザイン素案）を書面で確認。

[代表者会議]

- ・ 令和7年12月2日 / <検討内容>ランドデザイン（素案）の内容の検討、決定
- ・ 令和8年2月5日 / <書面検討内容>ランドデザイン（案）について
- ・ 令和8年3月23日 / <検討内容>ランドデザインの決定について（予定）

【UR都市機構との会議、ミーティング】

作業部会前などに随時開催

【市議会総務常任委員会への報告・説明】

- 令和7年8月臨時議会 総務常任委員協議会（7/29）にて「グランドデザイン（たたき台）」の説明
- 令和7年12月定例議会 総務常任委員勉強会（12/1）にて「グランドデザイン（素案）」の説明
- 令和8年3月定例議会 総務常任委員協議会（2/16）にて「グランドデザイン（案）」の説明

[先進事例視察]

- 7月17日、18日／岩手県花巻市
＜対象施設＞「マルカンビル」
◆酒田商工会議所主催の視察に、再生協議会及び市からメンバーが参加したもの。
- 7月23日、24日／岩手県宮古市
＜対象施設＞「都市再生整備計画（エリア価値向上整備事業）」「盛岡バスセンター」「オガール（紫波町）」等
- 10月16日、17日／広島県福山市 福山駅前再生にかかると一連の施設見学及び関係者等へのヒアリング
＜対象施設・団体等＞「itiSETOUCHI（旧そごう福山店の民間事業者による暫定利用事例）」「NEW CASPA（優建事業での駅前建物再開発事例）」「駅前広場（バス専用広場をウォークアブル化することを検討中）」「伏見町エリア（リノベーションまちづくり）」
「福山市役所（担当課より聞き取り）」「(株)umika（民間プレーヤー聞き取り）」ほか

[その他]

- 9月14日／「酒田散漫さんぽ【番外編】商店街の『これまで』と『これから』を話そう」への参加
- 10月27日／酒田市産業振興まちづくりセンターサンロク「アントレプレナーシップ育成講座」への参加
 - 【内容】** 高校生の事業化アイデア発表の聴講、まちなかランドデザインとタウンミーティング②のPR
 - 【所感】** 発表内容の中には、商店街の空き店舗を利用したショップやゲームイベントの開催など、より現実路線と言える「既存ストックの活用」という視点が多くみられた。また「放課後の居場所が少ない」という声も多く聞かれ、若者のサードプレイスの必要性を認識した
- 11月22日、24日／WacreateCAMP 2025 Autumn（中高生を対象としたワークショップイベント）への参加
 - 【内容】** <22日>参加者に対する中町エリアのこれまでの経過とまちなかランドデザインの説明、タウンミーティング②のPR
<24日>「中町に若者を増やす」をテーマにした研究内容の発表を聴講
 - 【所感】** 研究の前提として既存ストック（中町モール内の空き店舗）の活用が想定されていて、高校生らしい自由な発想から事業内容について考案され、それに基づいた発表がなされた。またここでも「若者のサードプレイス」が必要であるという声が聴かれ、ランドデザイン方向性の確認の一助となった

[UR都市機構による協力]

今回の策定に当たり、市からUR都市機構に対し、ランドデザインの策定とその実現に向けたコーディネート支援を要請し、受諾をいただいた。その後さまざまな場面で同機構のまちづくりや都市再生に関する豊富な知見を生かし、貴重な助言や協力をいただいている。

【主な協力内容】

- 官民連携連絡会議（代表者会議、作業部会）にオブザーバーとして出席
- 市事務局との会議、ミーティング（作業部会前等に随時）
- 他の支援自治体等における取組事例紹介、先進事例視察（広島県福山市）のアレンジ協力 等